



ルネ・ラリック

くみひももんよう

花瓶 《菊に組紐文様》

1912年 高さ 28.5cm

組紐文様を深く彫り込んだ鑄型に、まず青色ガラスを吹き込み、さらにその際網目の間に形成された深い窪みに、菊花文様を陽刻した亀甲形白色ガラスを嵌め込んでいます。裏面には光を効果的に反射させる鏡面加工を施しています。独創性と技術力の高さが表れた名品です。

北澤美術館所蔵作品

KITZ

株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素より当社及びグループ各社に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、3月11日に発生した「東日本大震災」は、東北地方から関東地方にかけての広い地域で甚大なる被害をもたらし、被災された多くの皆様には、心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆様の一日も早い復興を願い、当社及びグループ各社の義援金に社員からの募金を加え、寄贈させていただきました。

キッツグループとしては、今後とも被災地及び日本の復興へ尽力するとともに、お客様に商品やサービスを継続的に提供することを企業としての最大の使命と考え、これまでと同様、商品・サービスの提供に注力してまいります。

キッツグループは、2010年5月に発表した長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」に掲げた「真のグローバル企業への進化」の実現に向けて、成長戦略を推進しながら、着実に歩んでまいります。

株主の皆様には、引き続きキッツグループへのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年6月

代表取締役社長 堀田 康之

“ 大震災という難局を乗り越え、日本の復興に向けて最善を尽くします。 ”



代表取締役社長 堀田 康之

当上期の国内経済は、高い経済成長を続けるアジアへの輸出拡大と政府の経済対策により改善の兆しが見られていました。しかしながら、下期に入り円高の進行や石油、原材料価格の高騰の影響で景気の後退が懸念されはじめていた中で、東日本大震災が日本経済を直撃することとなりました。

今期の日本経済は、この大地震や津波の被害に加え、福島原子力発電所事故の影響により厳しい状況が予測されます。「がんばれ日本！」と国内はもとより世界各国からもエールが送られている被災地の復興と日本経済の早期回復に取り組んでいくのが、日本企業の責務だと考えております。私たちキッツグループは、一丸となってこの難局を乗り越え、日本の復興に向けて最善を尽くしてまいります。

キッツは、「真のグローバル企業への進化」を目指し、新組織体制で2011年度をスタートいたしました。2011年度の厳しい事業環境を乗り越え、目標達成のためキッツグループ全社員一丸となって鋭意努力し、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

業績概要 ● ●

当期（2010年4月～2011年3月）の連結決算

連結売上高は、国内の景気回復とアジア向けの輸出拡大により1,060億59百万円（前期比94億66百万円増、9.8%の増収）となりました。連結営業利益は、国内外の商品市況の下落や原材料高による原価の上昇、石油精製・石油化学向けバルブの採算の悪化などにより、63億41百万円（前期比6億34百万円減、9.1%の減益）。連結経常利益は、59億29百万円（前期比3億19百万円減、5.1%の減益）。最終の当期純利益は、当期より導入された資産除去債務やグループ会社の固定資産減損損失などにより特別損失11億2百万円を計上し、30億63百万円（前期比16百万円減、0.5%の減益）となりました。

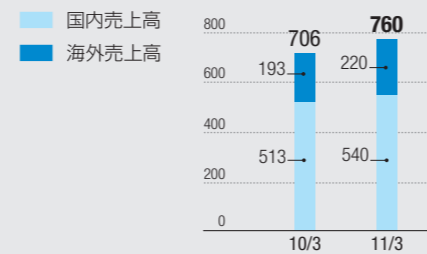
当期のセグメント別売上高・営業利益

○バルブ事業
売上高

国内販売は540億54百万円（前期比27億84百万円増、5%の増収）。主力の建築設備や機械装置向けのバルブが必要の回復により増収。半導体製造装置向けバルブは、前期比84%増の60億91百万円。一方、石油精製・石油化学向けの鋳鋼製バルブはプラントの新規増設や定期修理の需要が減少し減収となりました。

海外販売は220億43百万円（前期比27億2百万円増、14%の増収）。アジアは、市場の拡大を受け、タイ・インドネシア等の東南アジアや中国で建築設備向けのバルブの売上が拡大。北米は、石油精製・石油化学向けバルブの需要減により減収。ヨーロッパも景気の低迷で前年並みの売上となりました。

●バルブ事業 国内・海外の売上高（単位：億円）



営業利益

バルブ事業のセグメント別営業利益は81億43百万円（前期比6億35百万円減、7.2%の減益）。増収や原価低減活動による改善効果はあるものの銅相場等の原材料価格の高騰や国内外の市況の下落が影響し減益となりました。商品別では、主力商品である青銅製バルブやステンレス鋼製バルブは増収に伴い増益となりましたが、鋳鋼製バルブは数量の減少と市況の下落等により採算が悪化しました。

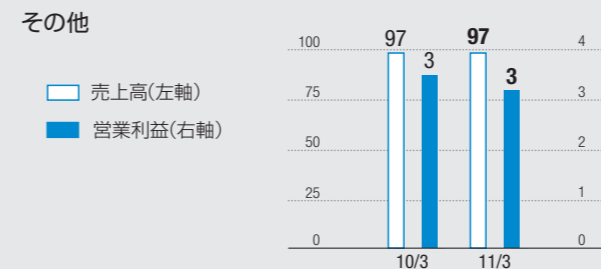
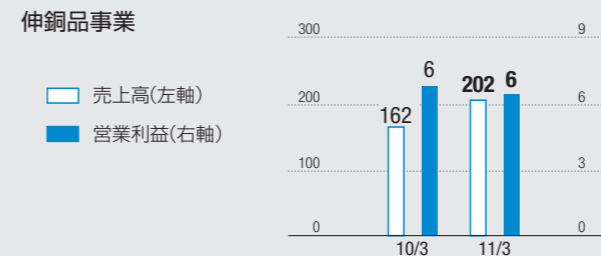
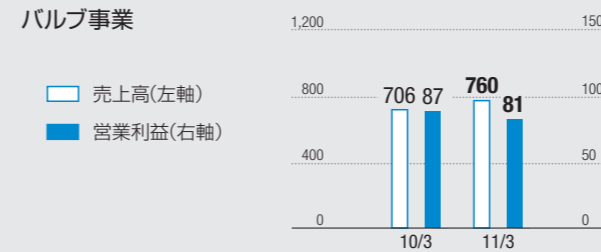
○伸銅品事業

売上高は202億30百万円（前期比40億12百万円増、24.7%の増収）。セグメント別営業利益は6億32百万円（前期比37百万円減、5.6%の減益）。水栓金具やガス機器などの住宅関連市場や家電等の需要が改善し、銅相場高騰で市況が上昇したことにより増収となりました。

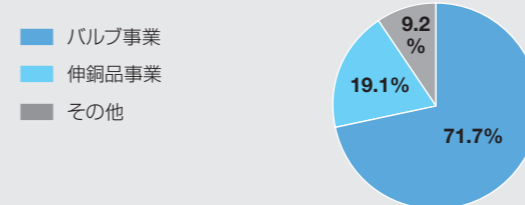
○その他

フィットネス事業、ホテル事業などの売上高は97億29百万円（前期比32百万円減、0.3%の減収）。営業利益は3億14百万円（前期比28百万円減、8.3%の減益）。総合スポーツクラブを運営するフィットネス事業は、前期に開設した新店舗の出店効果などで増収増益を達成しました。

●セグメント別売上高・営業利益（単位：億円）



●セグメント別売上高比率



今期経営計画（2011年4月～2012年3月）

●今期の経営方針

グローバル市場で戦える企業を目指す

お客様が満足して下さる（お客様価値を創造できる）企業を目指す

利益とキャッシュ・フローを生み出す

●今期の経営計画

連結	(百万円)	単体	(百万円)
売上高	112,000	売上高	53,000
営業利益	6,600	営業利益	3,000
経常利益	6,000	経常利益	3,300
当期純利益	3,200	当期純利益	1,900

セグメント別（百万円）

	売上高	営業利益
バルブ事業	78,800	8,875
伸銅品事業	24,200	600
その他	9,000	25
調整額	—	△2,900
計	112,000	6,600

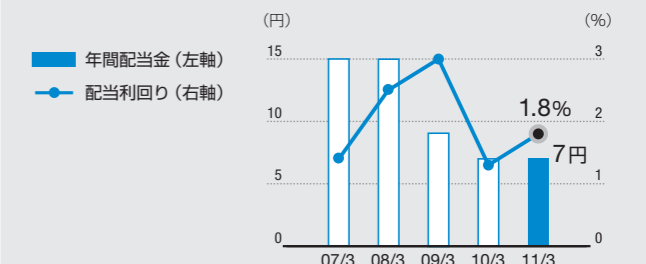
今期の日本経済は、未曾有の震災被害と福島原子力発電所事故の影響を受けて厳しい状況が予測されます。キッツグループの震災の被害状況は、バルブ事業及び伸銅品事業では生産設備等への影響はほとんどありません。しかし、その他の事業の中のスポーツクラブでは営業を休止している一部の店舗があり、6月末を目途に再開を予定しております。

このような事業環境の中で、今期経営計画は、その他のサービス関連の事業においては震災の影響により減収減益計画となりますが、主力のバルブ事業では増収増益を達成し、連結におきましては、売上高1,120億円、営業利益66億円を目指してまいります。

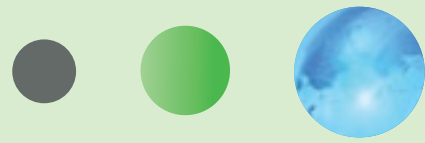
株主の皆様への配当方針

キッツは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として認識し、配当の継続性、安定性に留意しながら、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

●年間配当金・配当利回り



“ 真のグローバル企業へと ”
進化するKITZ



Topics 97 term

新組織の役割

キッツグループは、2010年5月、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」を発表しました。「真のグローバル企業への進化」をスローガンに、2020年度売上高2,500億円、営業利益200億円、海外売上高比率50%を目指し、グループ一丸となってスタートを切りました。2011年4月、キッツでは大幅な機構改革を行いました。グローバル企業へ進化していくための組織を構築し、経営基盤を強化することで、企業価値の最大化を目指します。

○ 経営企画本部

急速にボーダーレス化する海外マーケットに対応していくためには、グループ全体の総合力が不可欠です。グループの力を結集できるような戦略・仕組みを構築していきます。新たな価値を生み出すことができるビジネスモデルを創造し、グループ経営の効率化を図っていきます。

○ 技術本部

グローバルな規格、品質、価格を実現するための開発、設計を行っています。また技術者が開発・設計業務を効率よく行うことができるような技術基盤整備を進め、スピードある商品開発を行っています。

○ 生産本部

日々進化する事業環境の変化に柔軟に対応しながら、既存の国内外生産拠点では継続的に原価低減に挑戦する強い体質をつくり、生産活動を進めています。また、キッツグループ全体の最適生産がどうあるべきかを考え、徹底した生産戦略を立て、世界で戦えるコストを創出できる最適生産体制を構築していきます。

○ 管理本部

キッツグループの管理部門を統括する機能を強化していきます。グループ全社で、グローバル経営に必要な人材の確保・活用を推進します。また、内部統制の推進によるグループのコーポレートガバナンスの強化及び経理・人事等の情報システムの再構築により、グローバル経営に必要な情報を適時に共有化できるよう展開していきます。

○ 営業本部

世界のボーダーレス化を踏まえ、国内営業と海外営業、プロジェクト営業を一本化した組織体制にしました。当社が今後特に力を入れていく重点市場、重点エリアで、シェアNo.1を目指し、商品の新規採用からリピートオーダーまでの流れをつくります。

長期経営計画

○ 2020年度を見据えて

スローガン **真のグローバル企業への進化**

- 真のグローバル化を実現し、企業価値の最大化を目指す
- 強くて良い会社の実現を目指す

○ 2020年度目標数値

売上高:	2,500億円
営業利益:	200億円
営業利益率:	8.0%
海外売上高比率:	50%
有利子負債合計:	240億円
自己資本比率:	70%
ROE:	7%

主な戦略・施策

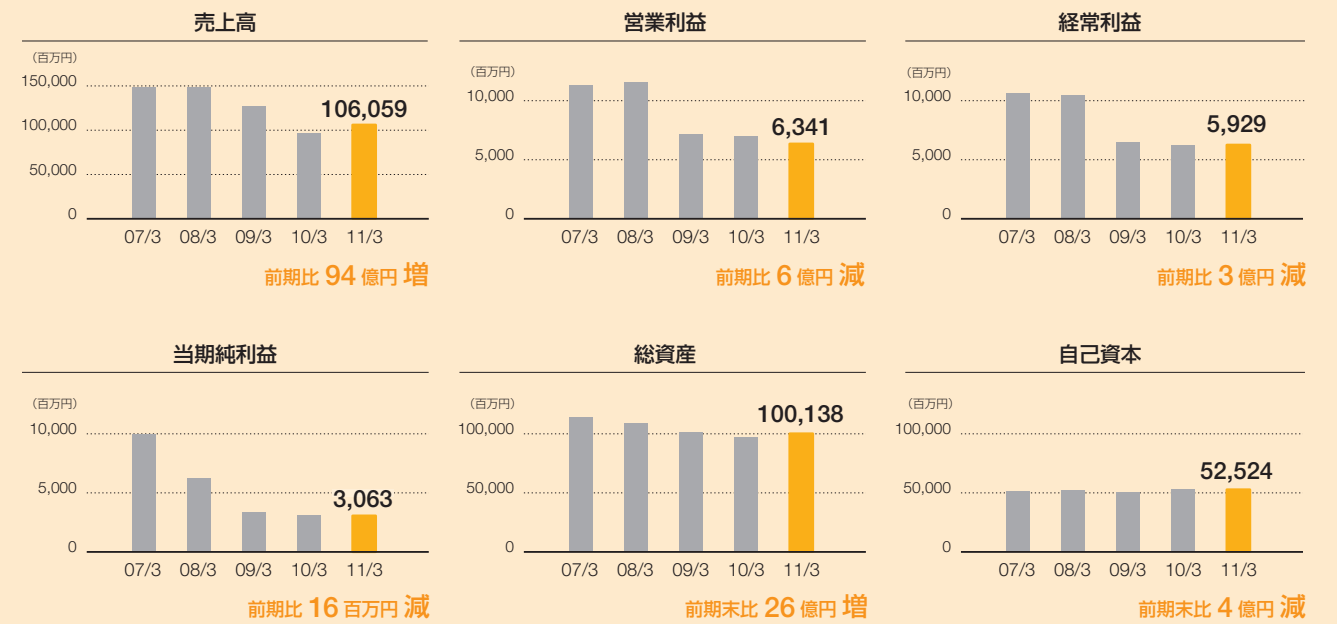
1. 海外は、3極+2拠点に区分し、各地域に適した戦略を策定し、事業規模の拡大を図る
2. 海外市場でのプラント関連ビジネスは石油精製・石油化学・ガス分野に注力し、シェア拡大を図る
3. 国内は、徹底した業務の効率化を図り、重点市場でシェアNo.1を狙うとともに、環境関連市場の一層の強化を図る
4. エネルギー市場など成長市場への参入及びM&Aによる事業規模の拡大を図る
5. 環境重視型社会の到来に対応した製品開発・新事業を創出する
6. 組織人材、情報・経理システムなどのインフラを構築する

More Information:

http://www.kitz.co.jp/investor_ir/Global_vision_plan.html

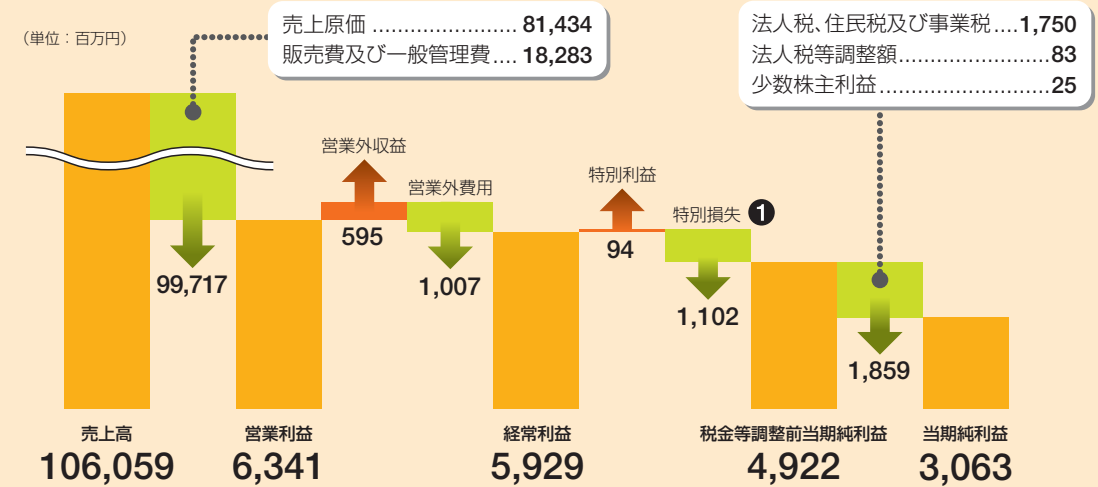
詳細な内容はウェブサイトで紹介しています

● 主要連結財務指標 ●



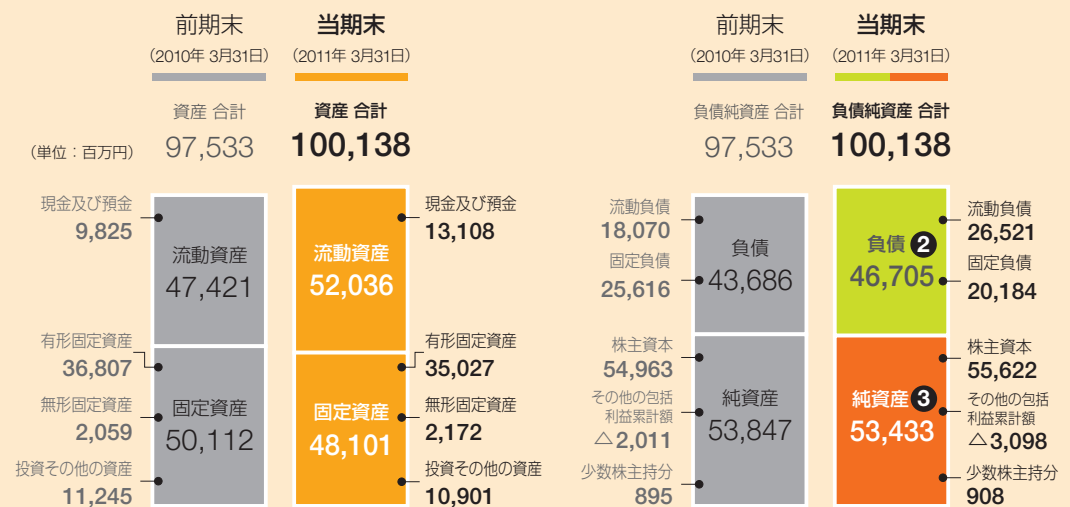
● 連結損益計算書の概要 ●

当期 (2010年4月1日~2011年3月31日)



Point ①
資産除去債務に関する会計基準の適用で約4億円、グループ会社の固定資産減損損失で約5億円を特別損失として計上いたしました。

● 連結貸借対照表の概要 ●



Point ②
負債については、第2回公募社債60億円の発行等で、前期末に比べ約30億円増加いたしました。

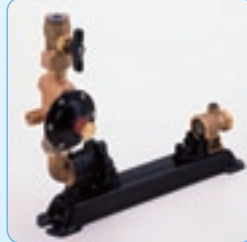
Point ③
純資産については、自己株式の取得約15億円等で、前期末に比べ約4億円減少いたしました。

皆様の生活に貢献するキッツ商品

生活関連分野

生活分野においては、上下水道・給湯・ガス・空調などで使われ、ライフラインを支えています。

戸建・集合住宅設備



集合住宅向けメータユニット

下水処理設備



下水道用バルブ

給水設備



給水装置商品

ビル設備



アルミ製バタフライバルブ



キッツグループは、液体や気体など流体を制御する機器「バルブ」の製造・販売を主に手掛けています。キッツグループの商品は、上下水道などの身近な生活分野から、石油プラントなどの産業分野まで幅広いフィールドで使われており、皆様の生活を支えています。制御する流体や温度・圧力などの使用条件によってバルブの種類は多岐にわたりますが、高品質で多彩な商品ラインナップをそろえ、お客様のあらゆるニーズにお応えできる点がキッツグループの強みとなっています。

産業分野

産業分野においては、石油化学、LNGなどのプラント向けや各種工場の生産プロセスラインなどで使われています。

工場設備



ステンレス鋼製3方2面シートボールバルブ

ガス配管



全溶接形鍛鋼製ボールバルブ

半導体製造設備

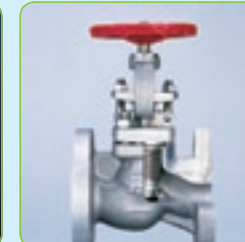


半導体製造装置用バルブ・継手(左) 薬液用中空糸膜フィルタ(右)

石油化学コンビナート



空圧式緊急遮断自動ボールバルブ



ペローズシールバルブ



低温用バルブ

会社概要

商号
株式会社キッツ

本社
〒261-8577
千葉県千葉市美浜区
中瀬一丁目10番1
TEL (043) 299-0111

代表取締役社長
堀田 康之

資本金
21,207,084,670円

設立年月日
1951年1月26日

従業員数(単体)
1,017人
(2011年3月31日現在)

ネットワーク

【株式会社キッツ】

工場
●長坂工場(山梨県)
●伊那工場(長野県)

営業網

●札幌 ●仙台 ●さいたま
●千葉 ●横浜 ●茅野
●新潟 ●富山 ●静岡
●名古屋 ●大阪 ●岡山
●広島 ●福岡

【国内グループ会社】

① 東京 ●株式会社キッツエスシーティー ●三吉バルブ株式会社
② 千葉 ●株式会社キッツエンジニアリングサービス ●株式会社キッツウェルネス
③ 滋賀 ●株式会社清水合金製作所
④ 長野 ●東洋バルブ株式会社 ●株式会社キッツマイクロフィルター ●株式会社キッツメタルワークス ●株式会社ホテル紅や ●株式会社諏訪ガラス工房

【海外グループ会社】

生産拠点
●タイ(サムットプラカーン) KITZ (Thailand) Ltd. ●台湾(高雄) 台湾北澤股份有限公司
●中国(江蘇省) 北澤精密機械(昆山)有限公司/北澤閥門(昆山)有限公司/北澤半導体閥門(昆山)有限公司
●中国(江蘇省) 連雲港北澤精密閥門有限公司
●スペイン(バルセロナ) KITZ Corporation of Europe, S.A. ●ドイツ(ヘッセン州) Perrin GmbH
販売拠点
●中国(上海市) 上海開滋国際貿易有限公司 ●インド(ムンバイ市) KITZ Corporation (India Liaison Office)
●U.A.E.(ドバイ酋長国) KITZ Corporation (Dubai Branch)
●アメリカ(テキサス州) KITZ Corporation of America
●ドイツ(デュッセルドルフ市) KITZ Corporation (German Representative Office)
●イギリス(ギルフォード市) KITZ Corporation (UK Representative Office)

株式の状況

●発行可能株式総数 400,000,000株

●発行済株式の総数 109,224,125株

(注)上記の株式の総数には、当社が2011年3月31日現在に保有する自己株式11,172,386株を含んでおりません。

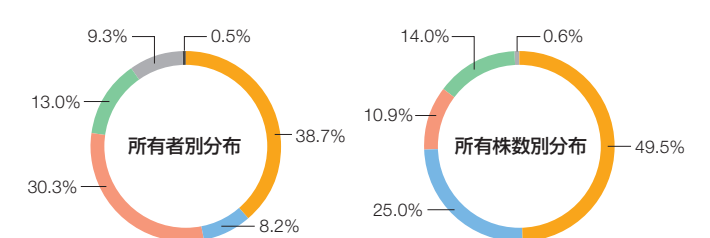
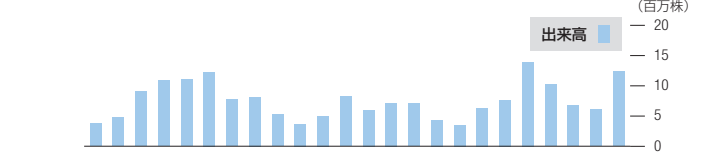
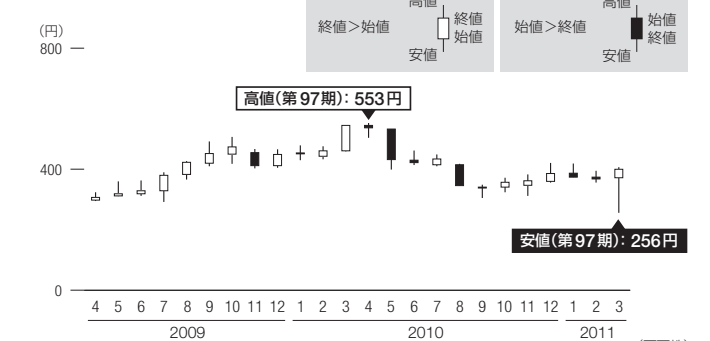
●株主数 10,830名

●大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	13,567	12.42
資産管理サービス信託銀行株式会社	5,024	4.60
日本生命保険相互会社	4,781	4.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,519	4.14
住友生命保険相互会社	3,448	3.16
財団法人北澤育英会	3,411	3.12
北沢会持株会	3,089	2.83
キッツ取引先持株会	2,676	2.45
株式会社みずほコーポレート銀行	2,553	2.34
株式会社三井住友銀行	2,553	2.34

(注)1. 当社は、2011年3月31日現在、自己株式11,172千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 13,567千株
資産管理サービス信託銀行(株) 5,024千株
日本マスタートラスト信託銀行(株) 4,519千株
3. 住友生命保険(相)の持株数には、特別勘定口422千株及び変額口266千株を含んでおります。
4. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式11,172,386株を除いて計算しております。

株価チャート



●金融機関 ●外国法人及び外国人 ●100万株以上 ●10万株以上
●個人その他 ●その他国内法人 ●1万株以上 ●千株以上
●自己名義株式 ●金融商品取引業者 ●千株未満

株主の皆様へのお知らせ

株主の皆様へのご通知方法・ご送付物についてのお知らせ

第97期(2010年4月1日～2011年3月31日)より、株主様へのご通知方法・ご送付物の内容が一部変更になります。「期末配当金のお支払について」は前期までハガキにてご案内しておりましたが、今期よりこの報告書の中でお知らせいたします。

○ 第97期に関連するご通知の流れ

① 6月13日発送

「第97回定時株主総会招集ご通知」「第97期報告書」(当冊子)「議決権行使書^{*1}」「第97期期末配当金領収書^{*2}」をお届けいたします。

② 6月29日発送予定

第97回定時株主総会で決議されました内容をお知らせする「第97回定時株主総会決議ご通知」をお届けいたします。

③ 7月1日発送予定

3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様を対象に「株主様ご優待案内^{*3}」をお届けいたします。

※1 100株以上ご所有の株主様にお届けします。

※2 口座振込をご指定の方には、「配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」をお届けします。

※3 株主優待の内容は、下記「株主優待のご案内」でご確認ください。

期末配当金のお支払について

2011年5月31日開催の当社取締役会におきまして、第97期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

期末配当金：1株につき 金4円

(中間配当金として2010年12月に1株につき3円の配当を実施しておりますので、年間の配当金は1株につき7円となります)

効力発生日ならびに支払開始日：2011年6月14日(火)

同封の「第97期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2011年6月14日～7月14日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第97期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

株主優待のご案内

キッツでは年2回、次の優待を実施しております。

○ 3月末現在の株主様

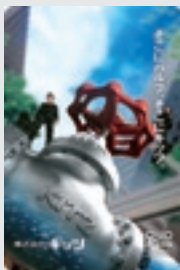
① 1,000株以上：「株主様ご優待案内」冊子

ホテル紅や宿泊優待券、キッツスポーツスクエア利用優待券、キッツマイクロフィルター高性能浄水器とカートリッジの特別割引価格販売、SUWA ガラスの里でのお食事・お買物割引、北澤美術館招待券

② 2,000株以上：①+オリジナルクオカード

(保有株数)	(優待内容)
2,000株以上	1,000円券1枚
3,000株以上	2,000円券1枚
4,000株以上	3,000円券1枚

※7月1日発送予定



○ 9月末現在で1,000株以上

ご所有の株主様

北澤美術館カレンダー

※12月上旬の発送

北澤美術館 諏訪本館・新館、清里館

キッツは「北澤美術館」の活動を支援することを通して、学術・芸術の振興と文化の向上に貢献しております。北澤美術館では、19世紀末フランスのアール・ヌーヴォー期の世界第一級のガラス工芸品と現代日本画を中心に優れた作品を常時展示しており、国内外を問わず高い評価をいただいております。年間を通じて様々な特別展を開催し、多くの皆様のご来館をお待ちしております。

株主の皆様のご意見が経営に反映されます

株主総会で提案された議案について、株主の皆様にご賛成や反対の意思表示をしていただくことを「議決権の行使」といいます。株主の皆様には100株につき1個の議決権をご所有いただいております。ご所有の株主様がこの権利を行使することは、当社の経営に参画していただくこととなります。議決権を行使いただく方法は、以下の通りです。

① 当日株主総会にご出席いただき、提案された議案に対する賛否を表明していただきます。

※株主総会については、同封の「第97回定時株主総会招集ご通知」をご参照ください。

② 当日株主総会にご出席いただくことができない場合は、同封の「議決権行使書」にて提案された議案に対する賛否を表明していただきます。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告掲載方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載 URL(http://www.kitz.co.jp)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式の売買を希望されている株主様につきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。